

議会報告「市民との意見交換会」・午前の部 1部記録  
(令和6年11月21日(木) 加西市役所多目的ホール)

問： 人口減少対策、若干改善しているとありますが、出生率というのは、分母が減れば、分子が多少減っても、上がるという数字のマジックですよね。この分母の部分がどうなのかということです。分母の部分がどれだけ減って、分子の部分の減り方が少ないから、当然、出生率が上がるわけです。分母というのは、いわゆる出産できる層で、ここが大きく減れば、出生数が少なくても上がります。

また、加西市ホームページに掲載の町別毎月末人口表によると、直近の数字で言いますと、6年度10月末の日本人人口は、3万9,899。令和5年度12月末で、日本人人口4万400。4年度4万923。3年度4万1,537。明らかに減少傾向を示しています。その一部分だけを抜いて回答するのはおかしいと思います。

答： ありがとうございます。この件については、二部の方で意見をたくさん言っていただければと思います。

問： 議案の61号と53号、水道料金の値下げが審議されています。

東南海地震が近いということが言われていますが、発生したら一番困るのはやっぱり電気と水道です。現在の加西市の耐震水道管は、何本ぐらいで何%されているのか。かなり低いと思うのですが。水道料金の値下げをするよりも、こういうところにお金をまわしていった方が良いのではないのでしょうか。それよりも耐震水道管を布設して、地震に対応することが、この議案の中で論議をされていない、討論なしですから。議会は執行者ではないので、答弁を聞くことはできないと思いますが、言えることがあったらお答えをお願いします。

答： この部分に関して討論は、なかったのですが、我々議員もいただいた意見を尊重しまして、我々も議会から執行者側に話をしていきたいと思っています。

問： 国民健康保険特別会計の令和5年度の基金残高は8億とありますが、加西市の程度であれば、どれぐらいが普通なんでしょうか。基金残高が大変大きくなっているという事ですが、8億が大きいのかどうか、どう判断したら良いのですか。

答： その金額が幾らであればいいのかというのは、一概に数字を出して説明することができません。いわゆる一般家庭と言う貯金ですから、多ければ多いほど、何かあった時には、対応できるということですが、基金を増やしていくには実施する事業を減らしていなければ、積んでいくことができません。市民生活に直結する部分については、やはり基金から取り崩して、基金を活用して、分担金、負担金を下げてはどうかという意見も出ております。その金額は幾らであれば妥当かどうかというのは難しいです。ただ、今、加西市で独自でやっているのが、県下全体の保険制度に変わっていくがゆえに、今はその移行期間で、激変緩和措置といいまして、金額が大きく変わっていくところを、対応していかなければならないというのが、加西市初め県下自治体の行政の対応だと認識しています。

問： 大体加西市のレベルでもやれば大体通常どれぐらいの間の市町村が積んでいるのでしょうか。

答： ただ単にその基金、基金で、残っている数字だけを単純に比較するのは、無理なんです、少なかつたら不安な状態というのは間違いないと思います。多すぎるというのもどうか、それはもっと活用すべきではないかなということも、私の意見もそうですし、議会側の意見もそうではありません。

問： 今まではどれくらいあったんですか。

答： 好調な理由は、ふるさと納税の影響が大きいです。加西市の基金というのは、過去には県下でも低レベルの状況でありましたが、最近、積んで参りまして、基金が増えてきている状況です。

**議会報告会「市民との意見交換会」記録**  
**(令和6年11月21日(木)加西市役所多目的ホール)**

午前の部

2部 市民との意見交換会

A グループ市民3名 議員2名

(1) 人口減少対策

- ・加西市の魅力づくりが必要。
- ・教育では小中学校一貫校してはどうか、大学の誘致、高校のレベルアップが必要である。
- ・小学校の統合は良く無いのではないか。
- ・女性の働き方と若者の働く場所、中小企業の支援が必要である。
- ・空き家対策として、新築するより空き家のリフォームに多めの補助金をすることで住んでもらいやすくなるのではないかと思う。
- ・農業にも力を入れて、空き家に若者に住んでもらったら若者支援になると思う。それに補助金を出していただけたらもっともっと良くなると思う。

(2) フリーテーマ

- ・平和教育についてすごく不安を感じる。被害状況などを知る方がいいと思う。平和教育の質について考えてほしい。
- ・障がい者に関して、議員に対して市内の障がい者施設視察に行ってもらいたいと要望があった。
- ・市役所の行政人材の仕組みづくりとか改善改革を行ってほしい。
- ・教育に関しては塾に行かなくて済むような教育にしてほしい。
- ・しっかり行き届く教育をするには少人数の方がいいのではないかと思う。
- ・義務教育っていうのは塾行かなくてもいい教育であるべきである。そのような教育格差は、結果的に少子化につながると思う。

B グループ市民3名 議員2名

(1) 人口減少対策

- ・目に見える取り組みをしてほしい。プロジェクトチームをつくって取り組んではどうか。
- ・加古川北インターと加西インターの間のインフラ整備をしてほしい。
- ・下里の開発計画をさらに推進して欲しい。
- ・朝の7時ごろ、加古川や姫路から入ってくる時に車の渋滞に対して対策を考えてほしい。
- ・人口増対策として、淡路に農学部があるように大学の誘致をすれば1学年500人として4年間で2,000人安定して増えるのではないか。
- ・福崎は町なのに道路整備ができています。加西市も考えて欲しい。

(2) フリーテーマ

- ・ナイナイづくしの話をせず、こうしたらいいなという話をしよう。
- ・最近自然災害が多いが、仮設住宅を建てて、多くの避難者を受け入れたらいい。
- ・加西市には、働く場所はたくさんある。若い人と話をしながら市内で働いてもらう。
- ・産婦人科がないと人口が増えないのではなく、出産は北播磨などに任せて、出産前後のサービスを充実させればいい。
- ・教育の方も魅力のある学部を呼んでこないといけない。
- ・環境整備も必要であり、「北条高校・播磨農業高校をよくする会」というプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。
- ・加西市が一丸となって、「加西市民はどこかのプロジェクトチームに入っている」というような取り組みを考えてほしい。
- ・総合的な取り組みだけでなく、具体的なプロジェクトが必要だと思う。